

令和3年3月25日

学校におけるICTを活用した教育の推進に関する要望書

公益社団法人日本PTA全国協議会

会長 清水 敬介

公益社団法人日本PTA全国協議会は、都道府県・指定都市64協議会により構成する保護者と教職員の全国組織です。日本最大の社会教育関係団体として、子どもたちの健やかな成長と教育環境の向上、社会教育及び家庭教育の充実・発展のために積極的に活動しています。

この度、「令和の日本型学校教育の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」とする中央教育審議会答申が大臣に手交され、今後、加速度的に本答申が遂行されることと存じます。

また、GIGAスクール構想に基づいたICT環境の整備及び活用が推し進められ、家庭の経済状況に左右されることなく、子どもたちの必要な力を育むための体制が全国において推進されるものと期待しております。

一方で、ICT基盤はあくまでツールであり、活用のための先生方の指導体制や、本質的な学びの環境改善等、これまで丁寧に検討され続けこの度の答申でも提言されているような施策について、決して蔑ろになってはならないことを意識していただきたいと感じております。

全ての子どもたちの教育機会均等のため、学校におけるICTを活用し、よりよい教育の推進に取り組んでいただけますよう、下記の通り要望します。

1. 学校におけるICT環境整備の推進について

このGIGAスクール構想の推進による、全ての自治体が一人一台端末の設置を目指すという施策において、端末の未納入から起こる配布未完了があるとの調査実施報告※を拝見しております。調査報告を受け様々な施策を講じていただいていることは承知しておりますが、小学校でのプログラミング教育も実施されている中、子どもたちの教育機会均等に大きな格差や遅れが出ることを大変懸念しております。また、令和の日本型学校教育の構築に不可欠とされるICT環境の整備について、「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年）」で掲げた学校におけるICT環境整備についても、端末の整備とともに確実に一刻も早い実現をしていただけますようお願い申し上げます。

加えて、数年後には端末の更新をする必要があり、また、学習者用デジタル教科書についても今後、普及が進むものと考えますが、いずれも、子どもたちへの教育の充実を図るうえで非常に重要なものであることから、国として支援をいただきますようお願い申し上げます。

※文部科学省ホームページ内「GIGA スクール構想の実現に向けた調達等に関する状況(8月末時点)について(確定値)」より

2. 先生方のICT活用指導力の向上について

子どもたち一人一台端末の教育環境を最大限に活用し、授業の質を高めるためには、先生方がICT基盤をツールとして、日常的に授業で活用していくことが必要です。また、この度の答申を実現していくためには、先生方がICT基盤を活用しながら、子どもたちの個別最適な学びと、協働的な学びを進めていくことが重要です。

既に「令和の日本型学校教育」を担う教師の人材確保・質向上プラン」をまとめるなど対応を進めていただいておりますが、整備されたICT基盤を効果的に活用できるよう、速やかに先生方のICT活用指導力の向上について対応していただけますようお願い申し上げます。

3. ICTを活用した先生の指導の体制について

ICTを活用した遠隔・オンライン教育の実施は、災害などの非常時や、不登校、病气療養児に対する指導として有効であると考えますが、子どもたちの学習を支える体制は家庭によって異なるとともに、先生と子ども、子どもたち同士の直接的な関わり合いなど学校ならではの学びの重要性を踏まえると、学校に登校せず自宅等での学習を学校の授業に代替することは、子どもたちの学びの保障と充実にはつながらないのではと危惧します。また、ICTを活用した遠隔・オンライン教育が進んでも、受信側の教室に先生が不要になるのではなく、先生による対面指導と遠隔・オンラインによる指導を適切に組み合わせ、多様な子どもたちに寄り添うとともに、ICTのよりよい活用による、一層きめ細かい指導の充実、個別最適な学びと協働的な学びの実現につなげるためには、1学級当たりの人数を少なくすることが重要です。小学校のみならず、中学校においても少人数学級の整備を進めていただけますようお願い申し上げます。